

基本目標 施策の方向	基本目標の概要	施策の方向の概要 (方向性)	担当業務における 具体的該当事業名	地域福祉の方向性を目指す 具体的方策・取組事項	状態の変化を示す 成果指標 (福祉計画の数値 目標該当の有)	【上段】 現状値 (R5) 【下段】 目標年度 (R10)
1. 地域を支える人づくりの推進 (1) 人材育成の推進	今後の人口減少や高齢化、認知症等支援の必要な人の増加に対して、地域福祉に関心を持ち、地域福祉活動に参加する人の育成は喫緊の課題と言えます。そのため、子どもから高齢者まで幅広い世代に対して、地域福祉に対する理解を深めるための福祉講座の開催や広報活動などにより、思いやりと支えあいの意識啓発を行い、地域福祉の担い手となる人材育成やボランティアの活性化に取り組みます。また、意識啓発は、幼い頃からの福祉教育や学校でのボランティア活動が重要であるため、学校と福祉の連携の強化を図っていきます。	①講習会・研修会の分野拡大 ②地域活動リーダー、コーディネーターの育成 ③シニア世代の地域福祉活動への参加促進 ④高齢者の能力活用と生きがいづくりの推進	地域づくりワークショップ (生活支援体制整備協議会) 生活支援コーディネーターの配置 介護講座・家族介護者支援事業 認知症地域づくり等運営事業 社会福祉大会 (ボランティア表彰を含む) 多世代交流カフェ運営事業 【講習会・他世代交流】 高齢者関係団体との情報交換	地域住民が参画し、地域課題を共有して課題解決に向けた取り組みについて協議する場をつくる。 地域住民を対象に地域課題やそれを解決するための実践方法について知識や技術を高めるための講座を実施する。 地域住民を対象に介護に関する知識や技術を高めるための講座を実施する。 認知症に関する各種講座において認知症に関する正しい知識を習得し認知症に理解あるまちづくりを推進するとともに認知症の人やその家族、地域住民など誰でも参加できる認知症カフェやチームオレンジ活動を実践する。 地域住民が参加し、福祉やボランティアなどについて考える機会となるような式典や講演等を実施する。 多くの住民の方が気軽に参加できる講座を開催する。 老人クラブやシルバー人材センターなどの関係団体との情報交換により、地域課題の焦点化を語り、課題解決に向けた検討を行う。	講座やワークショップの参加者数 生活支援サービスに関する研修会・講座の開催数 介護講座の回数と受講者数 各種講座や地域活動の参加者数 参加者数 なんカフェ講座開催回数 —	1,007人 1,200人 7回 7回 6回 104人 6回 120人 1,641人 1,800人 8回 8回 200人 250人 12回 12回 6回 6回 3回 3回
(2) 地域共生の意識づくりの推進		①福祉教育の充実 ②交流事業による絆づくりの充実 ③心のバリアフリーの推進 ④社会教育における福祉教育の推進 ⑤学校教育を核とした地域づくりの推進	福祉教育支援事業 認知症サポーター養成講座 (小学生)	体験を取り入れた学びを中心とした福祉教育を推進する。 児童を対象にした認知症サポーター養成講座の実施と地域活動への参画を促進する。	福祉活動の回数 認知症サポーター養成講座実施回数 (小学校)	6回 6回 3回 3回
2. 町民が支えあう地域づくりの推進 (1) 地域見守り活動の推進	町民が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、住民同士が支えあい、高齢者、障害のある人への見守り、子どもに対する虐待の早期発見などを推進していきます。 ボランティア活動については、本町と社会福祉協議会との連携により、ボランティアセンター及びボランティアコーディネーターを設置し、地域ボランティアの育成や活動支援を行ってきており、ボランティア活動への活性化に向けた取り組みをさらに推進します。 こうした地域活動の充実を図り、地域で誰もが安心して暮らせる、住民が支え合う地域づくりを進めていきます。	①高齢者の社会参観促進 ②声かけ運動の推進 ③高齢者見守りネットワークの促進 ④地域のサロン活動の促進	地域でのサロン支援事業 地域見守り支援 (推進) 事業 歳末見守り訪問事業 生きがい福祉促進事業 共同募金会事業	地域住民が参加し、相互交流や支援ができるような場の提供とともに地域サロン団体への個別支援を強化する。 見守り訪問を実施し、対象者の状況を把握して社会参加を促したり、地域の支援につなげたりする。 地域の方が積極的に見守り訪問ができるように事業周知と活動費の支援を行う。 高齢者が生きがいある生活が送れるよう各種大会を開催し参加を促進する。 自治会を始め町民に対して募金の趣旨を周知し、協力いただけるような募金方法や活動を推進する。	岐南町高齢者はつらつ事業補助金 申請団体数 地域サロンの開催数 地域見守り訪問回数 歳末見守り実施団体数 生きがい福祉促進事業参加者数 募金実績額	36団体 36団体 432回 504回 780回 860回 18団体 20団体 350人 350人 4,297千円 4,312千円
(2) 地域活動の支援		①自治会活動への参加促進 ②地域活動団体間の交流	地域の課題解決事業 (社協会費の還元事業)	自治会とサロン等団体の双方に対して、制度の趣旨や事例紹介の機会を設け、積極的な活用を促すよう周知を強化する。	助成件数	2団体 34団体
(3) ボランティア活動の推進		①ボランティア情報提供の充実 ②ボランティア活動の支援 ③ボランティア団体間の交流	社会福祉大会 (ボランティア表彰を含む) ボランティア登録・活動保険加入奨励 ボランティアマッチング (情報提供) ボランティア連絡協議会	地域住民が参加し、福祉やボランティアなどについて考える機会となるような式典や講演等の実施し、福祉の向上の意識を醸成する。 ボランティア登録や保険について周知し、活動者が安心して活動できるよう支援を強化する。 マッチング先の拡充と情報収集に努め、活動者の支援を推進する。 サロン等団体間での情報提供や活動における課題解決に向けた協議の場を提供することにより、活動の活性化を推進する。	参加者数 ボランティア登録者数 ボランティアのマッチング件数 ボランティア連絡協議会活動数	200人 250人 260人 290人 24件 75回 30件 90回 0回 10回

基本目標 施策の方向	基本目標の概要	施策の方向の概要 (方向性)	担当業務における 具体的該当事業名	地域福祉の方向性を目指す 具体的方策・取組事項	状態の変化を示す 成果指標 (福祉計画の数値 目標該当の有)	【上段】 現状値 (R5) 【下段】 目標年度 (R10)
<p>3. 福祉サービスを利用しやすい環境づくりの推進</p> <p>(1) 福祉サービスに関する情報提供の充実</p> <p>(2) 包括的な相談体制の充実</p> <p>(3) 福祉サービスの充実</p>	<p>福祉サービスを利用しやすくするためには、対象者のニーズに合った情報提供を充実させることが必要です。今後の町の保健・福祉情報の提供方法は、広報紙などの紙の情報を中心としながらSNS等を活用して、サービスの必要な人に対して情報の取得促進を図ります。</p> <p>8050問題等に代表される複雑化・複合化した福祉ニーズが増えてきており、福祉部局や関係部局と連携して包括的な相談支援に努めます。</p> <p>さらには、必要なときに誰もが利用しやすい福祉サービスの充実、保健・医療・福祉の連携強化、サービスの質の向上等を推進します。</p>	<p>①福祉サービスに関する情報提供 ②福祉制度や医療制度に関する情報提供 ③ホームページの充実</p> <p>①地域包括支援センターなどの相談体制の充実 ②子育て相談の充実 ③民生委員児童委員活動の周知 ④各種相談事業の利用促進</p> <p>①高齢者・障害者サービスの充実 ②子育てサービスの充実 ③保健・福祉に携わる職員の資質の向上 ④保健・医療・福祉などの連携強化 ⑤第三者評価事業の促進</p>	<p>実施事業の事前啓発 広報紙「社協ざなん」発行 ホームページを活用した情報提供</p> <p>地域見守り支援(推進)事業 日常生活自立支援事業 認知症地域支援推進員の配置 地域子育て支援拠点事業(相談業務) 心配ごと相談事業</p> <p>地域子育て支援拠点事業(運営業務) 子どもの居場所づくり事業 認知症多職種連携会議</p> <p>福祉機器、福祉車両貸出事業 児童療育ルーム運営事業 宅配貸出サービス事業 専門職研修会への参加</p>	<p>各種実施事業の開催に際し、各種事業参加者を通じて関係機関も含め住民に情報が届くよう事前の啓発を充実する。 サービスや制度の情報提供及び研修会や勉強会の情報発信の充実化を図る。</p> <p>相談援助技術を向上させるために知識や技術を向上させる。 地域住民や関係者などが相談できる場と体制について、関係機関と共につくる。 相談しやすい環境に配慮するとともに、相談に対して多職種や地域と連携しながら支援を行う。 親子で利用しやすい場所を提供し、相談しやすい雰囲気づくりに努める。 関係機関と連携を図り、地域住民が気軽に相談できる場所と体制を充実させる。</p> <p>親子で利用しやすい場所を提供する。 多くの子ども達が利用しやすい場所を提供する。 認知症多職種連携会議を開催し、多様な主体の連携により認知症地域づくりを推進する。</p> <p>貸出しを必要とする方が相談、利用しやすい体制を推進する。 学習機会及び居場所を提供する。 利用しやすい貸出方法の検討を行い利用促進を図る。 現在実施している事業について、必要に応じて各種研修に参加し、業務スキルの習得と職員の資質向上を図る。</p>	<p>— — —</p> <p>相談件数 日常生活自立支援事業の利用者数 相談件数 参加延べ人数 心配ごと相談所の相談日開催日数と相談人数</p> <p>参加延べ人数 参加延べ人数 在宅医療・介護連携推進協議会及び各部会の開催数 外出支援サービス事業利用者数 福祉貸出機器の貸出回数 参加者数 図書資料宅配貸出サービス事業利用者数 —</p>	<p>— 4回 4回 —</p> <p>40件 40件 14人 30人 11件 20件 6,402組 6,800組 51日 94人 52日 96人</p> <p>6,402組 6,800組 1,207人 1,449人 8回 8回 5人 10人 車いす 25台 25台 介護ベット 5台 5台 4人 廃止 0人 事業の実施方法について見直す必要がある。 —</p>
<p>4. 誰もが安心して暮らせるまちづくりの推進</p> <p>(1) 権利擁護事業の充実(成年後見制度利用促進画)</p> <p>(2) 就労支援・生活困窮者対策の充実</p> <p>(3) 地域の防災・防犯活動の推進</p> <p>(4) ユニバーサルデザインに基づくまちづくりの推進</p>	<p>誰もが安心して暮らせるまちはすべての町民の願いです。本町では、認知症高齢者や知的障害者に対する成年後見制度の利用促進、生活困窮者の支援及び子どもの貧困対策、再犯防止対策、災害時の避難行動要援護者への支援、ユニバーサルデザインのまちづくり等住民の支えあいでもいつまでも安心して暮らせるまちをめざします。</p>	<p>①日常生活自立支援事業の周知と利用促進 ②ケアマネジメントの推進 ③成年後見制度の利用促進(成年後見人制度利用促進計画)</p> <p>①生活困窮者支援の充実</p> <p>①地域ぐるみによる防災活動の推進 ②人材の確保とボランティアの連携 ③災害時要援護者避難支援制度・避難行動要援護者制度の推進 ④地域の見守り活動の推進</p> <p>①道路や公共施設などのバリアフリー化・ユニバーサルデザインの推進</p>	<p>日常生活自立支援事業(成年後見制度への利用促進)</p> <p>総合的な相談事業 生活一時金貸付事業・フードバンク事業 子ども宅食事業 子ども食堂事業 子どもの学習支援事業 生活福祉資金貸付事業(県社協受託事業) 生活困窮者自立支援事業(県社協事業)</p> <p>地域見守り支援(推進)事業 日常生活自立支援事業 災害ボランティアセンターの運営 災害ボランティアセンター体制整備事業</p> <p>福祉教育支援事業 認知症サポーター養成講座(小学生)</p>	<p>行政や関係機関との連携を図り、相談体制、支援体制を整える。広報紙や案内等により、地域住民や関係機関に対して制度の周知を行う。</p> <p>困窮状態の方などが相談できる場と体制について、関係機関と共につくる 困窮状態の方などが相談できる場と体制について、関係機関と共につくる 宅配活動の継続と関係機関との情報連携を図る。 学習支援での実施ではなく、宅食との情報連携により支援の必要性が高い住民への支援を検討する。 学習機会の場の提供及び子ども達の居場所の確保に努める。 困窮状態の方などが相談できる場と体制について、関係機関と共につくる。 困窮状態の方などが相談できる場と体制について、関係機関と共につくる。</p> <p>災害時において、利用者の状況把握や支援について連携し対応できる体制をつくる。 災害時において、利用者の状況把握や支援について連携し対応できる体制をつくる。 BCP(業務継続計画)に基づき、発災後早急に災害ボランティアセンターが設置できるよう訓練等を実施する。 災害時に、住民や関係機関がそれぞれできることを考え、認識するための講座や訓練等を実施する。</p> <p>体験を取り入れた学びを中心とした福祉教育の提供 児童を対象にした認知症サポーター養成講座の実施と地域活動への参画を促進する。</p>	<p>評価・モニタリング件数</p> <p>自立相談支援窓口の受付件数 生活一時金貸付件数(相談件数・貸付件数) 配達食数 提供食数 子どもの学習支援事業利用者数 生活福祉資金貸付事業(相談件数・貸付件数) 生活困窮者自立支援事業支援件数</p> <p>災害対策基本法に基づく個人情報外部提供同意者数 日常生活自立支援事業の利用数 講座や訓練等の開催回数</p> <p>福祉活動の回数 認知症サポーター養成講座実施回数(小学校)</p>	<p>2人 必要時に半年に1回実施</p> <p>18件 25件 28件 2件 28件 2件 100食 50食 30食 30食 12人 12人 67件 2件 67件 2件 28件 28件</p> <p>132人 200人 14人 30人 1回 2回</p> <p>6回 6回 3回 3回</p>